

## 「 “ とちぎ ” づくり戦略 」 の考え方について

- 1 次期総合計画の基本構成
- 2 “ とちぎ ” づくり戦略（戦略の位置付けイメージ）
- 3 “ とちぎ ” づくり戦略（プロジェクト構築イメージ）
- 4 「第2章 重点戦略」の構成イメージ

# 次期総合計画の基本構成

## 【第1部】めざす“とちぎ”の姿

### 時代の潮流と“とちぎ”の可能性

#### 1 時代の潮流と“とちぎ”の課題

人口減少・少子高齢化  
地域経済と産業構造の変化  
地域社会・コミュニティの変化  
グローバル化の進展

高度情報化の進展  
地球環境・資源エネルギー問題の顕在化  
価値観の多様化  
地方分権時代の到来

#### 2 “とちぎ”の可能性と潜在力

豊かさをもたらす広大で安全な県土  
恵まれた立地条件  
優れた自然、豊かな環境  
誇れる文化の継承と創造

広がる“農”のちから  
活力ある産業  
次代を創る豊かな人材  
“とちぎ”の総合力

## ビジョンを描く

### “とちぎ”を創る

#### 1 “とちぎ”の将来像

私たちが目指すのは、  
一人ひとりが真に輝き

誰もが安心して暮らせ

地域に活力があふれ

次世代へと環境を守り伝え

住み続けたい、住んでみたい

“とちぎ”

『(将来像を表す言葉)』

#### 2 “とちぎ”の将来像の実現に向けて

##### (1) “とちぎ”づくりの基本姿勢

新たな時代の“公(おおやけ)”を実現する  
～地域をともに創る～  
県民一人ひとりが主役となる“とちぎ”  
多様な主体が協働・創造する“とちぎ”  
地域が自立・発展する“とちぎ”

##### (2) “とちぎ”づくりの基本方向

- 政策推進の基本「人づくり」
- 政策推進に当たっての視点
- ア 安全・安心の確保
- イ 活力の創出
- ウ 環境立県への挑戦

##### (3) “とちぎ”地域づくりビジョン

～“とちぎ”の広がり～  
地域づくりの基本方向  
地域の目指す姿

## 将来像の実現

## 【第2部】“とちぎ”づくり戦略

### 政策の基本「人づくり」

「人づくり」の考え方や取組等について、ライフステージごとに「人をはぐむ」・「人を活かす」の2つの視点により記載

子ども→若者→子育て世代→大人→シルバー世代

### 重点戦略

- 1 暮らしを支える安心戦略  
～健やかで安心な暮らしを実現するために～
- 2 明日を拓く成長戦略  
～活力と魅力あふれる地域をつくるために～
- 3 未来につなぐ環境戦略  
～地球と人にやさしい快適な社会を築くために～

### 戦略の推進に向けて(仮称)

多様な主体の連携・協働、地方分権、財政健全化の推進等、戦略を推進する上で基盤となる考え方や取組について記載

# “とちぎ”づくり戦略 (戦略の位置付けイメージ)

「“とちぎ”づくり戦略」とは、行財政を取り巻く環境が厳しさを増す中、日々変化する社会経済情勢に的確に対応していくため、時代の潮流や本県の可能性・潜在力などを踏まえ、優先度や重要度に基づく「選択と集中」により重点的に取り組むもので、本県の目指すべき「将来像」をより確実に、より効果的に実現していくための戦略です。  
 “とちぎ”づくりの原動力となる「人づくり」を政策の基本に据え、3つの戦略を重点戦略として位置付け、積極的に取り組みます。

## 将来像

一人ひとりが真に輝き  
 誰もが安心して暮らせ  
 地域に活力があふれ  
 次世代へと環境を守り伝え  
 住み続けたい、住んでみたい “とちぎ”

### 第1部

政策推進に当たったの視点  
 “とちぎ”づくりの視点

政策推進の基本「人づくり」  
 の基本方向



政策の基本 人づくり

「人づくり」の考え方や取組等については、ライフステージごとに「人をはぐくむ」・「人を活かす」の2つの視点により記載します。  
 「人づくり」の基本となる教育・文化・社会参画など、個人のパーソナリティや社会性の形成に係るものを記載します。

## “とちぎ”づくり戦略（プロジェクト構築イメージ）

3つの戦略を構成するプロジェクトの構築に当たっては、時代の潮流や本県の可能性・潜在力などに着目した分野の絞り込みを行うとともに、下記の3つの考え方に基づき施策の重点化を図ります。

暮らしを支える安心戦略

明日を拓く成長戦略

未来につなぐ環境戦略

### 〈プロジェクト構築に当たっての3つの考え方〉

#### 選択と集中による施策の重点化

行財政環境が厳しさを増す中、時代の潮流や本県の可能性・潜在力などを踏まえて、県民ニーズや行政課題を的確にとらえ、選択と集中により施策の重点化を図ります。

重点化に当たっては、県民意向調査、市町村長意向調査、栃木県総合計画懇談会の意見、県議会次期総合計画検討会の提言、とちぎ元気プランの推進状況、全国の水準に比べ著しく遅れている分野、知事マニフェストなどを基本に絞り込みを行います。

#### 部局横断的な課題対応型のプロジェクト

21世紀中頃を見据えて、特にこの5年間で重点的に、全庁を挙げて取り組まなければならない課題などについて、部局横断的なプロジェクトを設定します。

プロジェクトの設定に当たっては、課題解決に向け、計画期間中にこれまで以上に強化すべき取組、早期に達成すべき取組、新たに着手すべき取組に重点化を図ります。

#### 多様な主体とのパートナーシップ

複雑多様化する県民ニーズや喫緊の課題などに迅速かつ的確に対応するため、多様な主体とのパートナーシップによりプロジェクトを推進します。

## プロジェクト

#### 先進型

時代の流れを的確に把握し、他地域にはない独創性を発揮

#### 波及型

様々な課題を複合的に解決し、政策効果の広がりを重視

#### 課題対応型

重点的に取り組まなければならない課題に積極的に対応

#### 協働型

多様な主体との強固なパートナーシップにより推進

#### 独自型

本県特有の「強み」や「とちぎらしさ」を活かし、さらに伸ばす

## 「第2章 重点戦略」の構成イメージ

